

市民アーカイブ多摩

2024年春・開館10周年!

お陰様で、「市民アーカイブ多摩」は今年4月に開館10周年を迎えます。この間、さまざまな形でご縁のあった市民活動資料を断片的であっても収集・保存し続けることができました。

会員の皆様や場所を提供してくださっているNPO法人グリーンサンクチュアリ悠をはじめ、支えてきてくださった皆様に心から感謝申し上げます。



今年も資料・人・自然との新たな出会いを楽しみながら、節目の年として、次の10年を見据えた活動を展開していきたいと思っております。ご一緒にどうぞよろしくお願いいたします。

ネットワーク・市民アーカイブ運営委員一同

◇ 2023年の活動・発見・うれしかったニュース!

①多摩地域の公共図書館におけるミニコミ収集状況を調査・共有。自治体間で大きな差あり。多摩地域全体で市民活動資料の収集・保存について考えていく必要性を実感。

②総会記念講演会の岡部明子さんのお話から、「(困難があった方が)活動が停滞しない」「共通の関心をめぐって各自が自由に決めごとに関わる実践が『公共空間する』こと」などのお話に勇気をもらう。



③「緑蔭トーク」4回(細田伸昭さん、六鹿篤美さん、中井万知子さん、松崎悠さん)開催。『アーカイブ通信』3回発行。国会図書館訪問。

④初めてボランティア研修を開催。岸中書庫へ2回目の資料移送。

⑤法政大学・立教大学と3館合同でシンポジウム『市民活動資料』収集・整理・活用の現場から開催。

⑤新規入会(2023年内)14人・1団体 **会員・ボランティア募集中!**

